

<b>1</b>	〔問1〕	9	5
	〔問2〕	$7a + 8b$	5
	〔問3〕	$4 - 5\sqrt{2}$	5
	〔問4〕	6	5
	〔問5〕	$x = 3, y = 4$	5
	〔問6〕	$\frac{-5 \pm \sqrt{17}}{2}$	5
	〔問7〕	ウ	5
	〔問8〕	$\frac{11}{12}$	5
	〔問9〕		

<b>2</b>	〔問1〕	ア	5
	〔問2〕	〔証明〕	7
<p>5 段目の 6 個のマスに入っている数をそれぞれ <math>a, b</math> を用いた式で表すと、左から、<math>a, 4a+b, 6a+4b, 4a+6b, a+4b, b</math> となり、その和は、</p> $a + (4a+b) + (6a+4b) + (4a+6b) + (a+4b) + b = 16a + 16b = 16(a+b)$ <p>となる。</p> <p>また、1 段目の 2 個のマスに入っている数の和は <math>a+b</math> と表せる。</p> <p>よって、5 段目の 6 個のマスに入っている数の和は、1 段目の 2 個のマスに入っている数の和の 16 倍となる。</p>			

<b>3</b>	〔問1〕	あい	あ	1	5
			い	2	
	①	$y = \frac{1}{3}x + 4$			5
〔問2〕	②	う	う	9	5
		え	え	5	

<b>4</b>	〔問1〕	エ			5
	〔問2〕	①	〔証明〕		
<p>△ABP と △QCB において、</p> <p>四角形 ABCD は長方形だから、  <math>\angle PAB = 90^\circ</math>                  半円の弧に対する円周角は直角だから、  <math>\angle BQC = 90^\circ</math>                  よって、  <math>\angle PAB = \angle BQC \dots\dots\dots (1)</math>                  長方形の対辺は平行だから、<math>AD \parallel BC</math>                  平行線の錯角は等しいから、  <math>\angle APB = \angle QBC \dots\dots\dots (2)</math>                  (1), (2) より、2 組の角がそれぞれ等しいから、</p> <p style="text-align: center;"><math>\triangle ABP \sim \triangle QCB</math></p>					
〔問2〕	②	お	お	3	5
		か	か	5	
		き	き	5	

<b>5</b>	〔問1〕	く	く	5	5
	〔問2〕	け	け	8	5
		こ	こ	3	